

別紙参考様式 1

令和 7 年度学校経営計画

学校名 東広島市立河内小学校

学校長名 校長 大星 篤志

I 学校の状況

学級数	8	児童数	52	教職員数	16
メールアドレス	kochi-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/kochi_sho/				

II 教育目標

「夢と志」をもち、未来に向かって果敢に挑戦する児童の育成

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

「自分のよさをいかし、次世代を担う社会人の育成～和気・本気・根気・元気～

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	自分の考えを進んで表現する力を育成することで、確かな学力をつける。	知識・技能の習得	○基礎・基本の定着の取組 (1)マススキタイム学習の実施 (2)個別指導の充実 (3)テスト結果の分析と指導	○標準学力調査で、全国平均を超えた児童の割合(60%) ○単元末テストで、80点以上の児童の割合(80%)
			単元を貫く問い合わせと効果的な話し合い活動の充実	○問い合わせを創る授業の実践 ○学びの見える化 学習リーダーによる学習の進行スタイルやガイド学習の充実 ○ICTの効果的な活用	○自分の考えを人にわかりやすく伝えることのできる児童の割合(80%) ○授業で課題の解決に向けて、自分で考え、取り組んでいる児童の割合(80%)
豊かな心	2	自他を尊重し、豊かな感性と思いやりの心を持つ児童を育成する。	自己存在感を高める	○自己効力感や自己有用感の育成 ・童謡一人歌いの意図的な場の設定 ・ありがとうの言葉かけ	○自分のよさを感じていると答える児童の割合(80%)
			相手を大切にする礼儀・マナーの向上	○東広島スタンダードを意識させる取組 (1)小小、小中一貫した指導 あいさつのレベルの提示(レベル0~5まで) (2)児童会によるあいさつ運動の実施 (3)よりよい人間関係づくり (異学年集団活動の充実)	○「あいさつ」の質の向上小中一貫の取組である「あいさつ」レベル4以上の割合(80%)
健やかな体	4	基本的生活習慣の定着や健康や安全について理解し、たくましい体をつくる。	学習姿勢の意識化	○生活習慣の定着 (1)河内中学校区での生活リズムの定着 (起床 就寝 食事) (2)姿勢強化週間による取組 (3)健康保持等の保健指導の充実 (4)ノーメディアデーの設定と保護者への啓発	○意識している児童の割合(80%)
			体力の向上	○年間を通して朝マラソン、縄跳びの実施 ○授業での運動の工夫	○外遊びを週3回以上行っている児童の割合(70%)
信頼される学校	3	教職員一人一人の働き方に対する意識の醸成を図り、生徒と向き合う時間を確保する。	コミュニティスクールの推進	○地域課題の発見と地域貢献 (1)地域学習の充実・地域行事への参画 (地域人材を活用した地域探究と情報発信) (2)小小、小中連携による系統的な学び (3)学校運営協議会における情報共有 (4)積極的な情報発信	○ふるさとのよさがわかる児童(95%)
			明るく活気のある職場働き方改革の推進	○職員同士の挨拶とねぎらいで働きやすい職場 (1)児童と向き合う時間の確保 (2)対話を重視とチーム力の向上 (心理的安全性基盤) (3)不祥事防止のための報連相の徹底 (4)自己の定時退校の励行とワークライフバランスの促進	○業績評価等で自分が掲げた目標に向かって仕事ができていると感じる教職員の割合(80%)

V 学校評価

1 学校評価システムの組織

企画委員会（校長・教頭・各主任）で内容や方法を検討し、年3回学校運営協議会を実施する。

2 自己評価および学校運営協議会での評価の実施計画

